

資料

泉大津市の健康状況

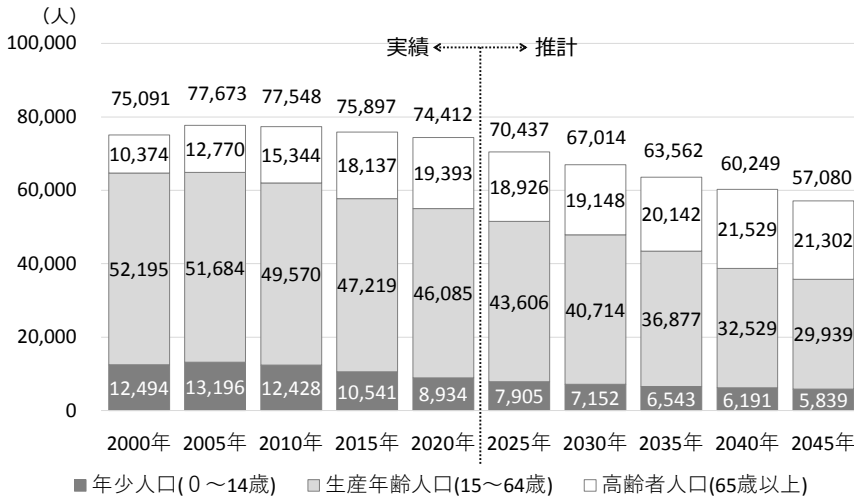
2022.8更新
泉大津市健康づくり課

一部確定が難しいデータを使用していますことをご了承ください。

泉大津市

- 人口 73,466 (R4.4.1現在)
- 面積 14.33km² (R3.10.1現在)
- 人口密度 5,126人/ km²
- 世帯数 34,829 (R3.1.1現在)
- 高齢化率 26.1% (R4.4.1現在)
- 65歳以上の単身者世帯率 39.6 (H27.10.1)
- 出生数 565 (R2.1.1~12.31)
- 合計特殊出生率 1.45 (R2.1.1~12.31)

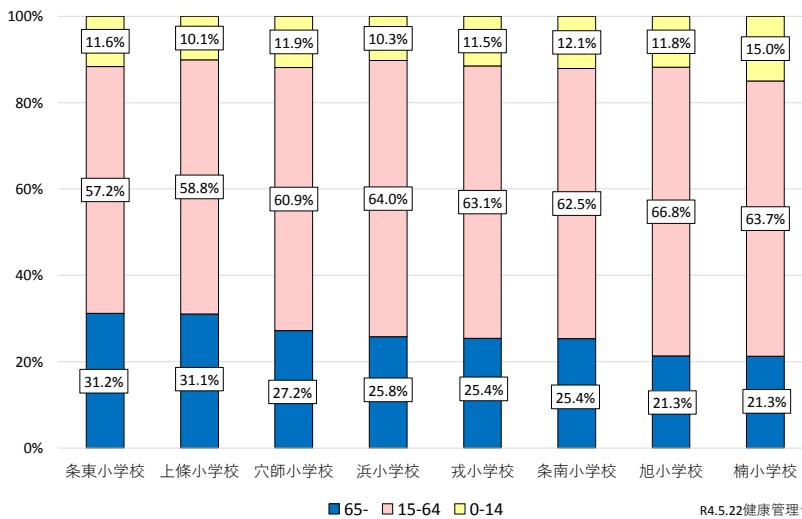
1. 年齢3区別分人口の推移



資料：実績／国勢調査、推計／国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018年推計）」

2005年以降、総人口は、年少人口、生産年齢人口の減少に伴い、減少傾向にありますが、高齢者人口は2040年まで増加していくと推計されています。

2. 校区別年齢構成



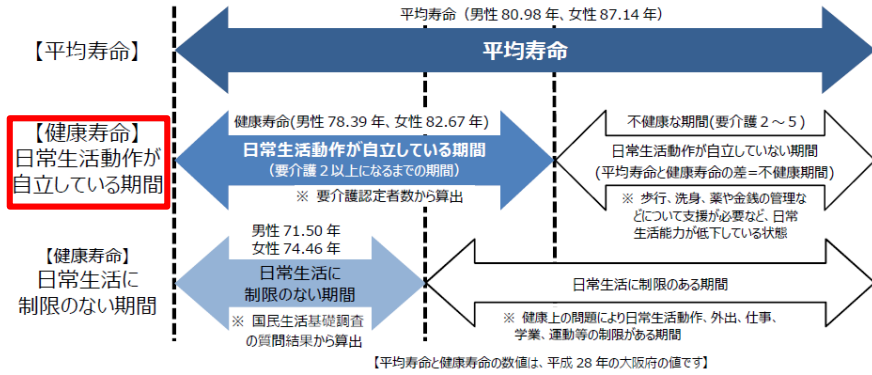
R4.5.22健康管理システム抽出

校区によって年齢構成割合が違い、高齢化率は、条東小学校区が31.2%と最も高く、旭小学校区・楠小学校区が21.3%と最も低くなっています。

3. 健康寿命

健康の現状

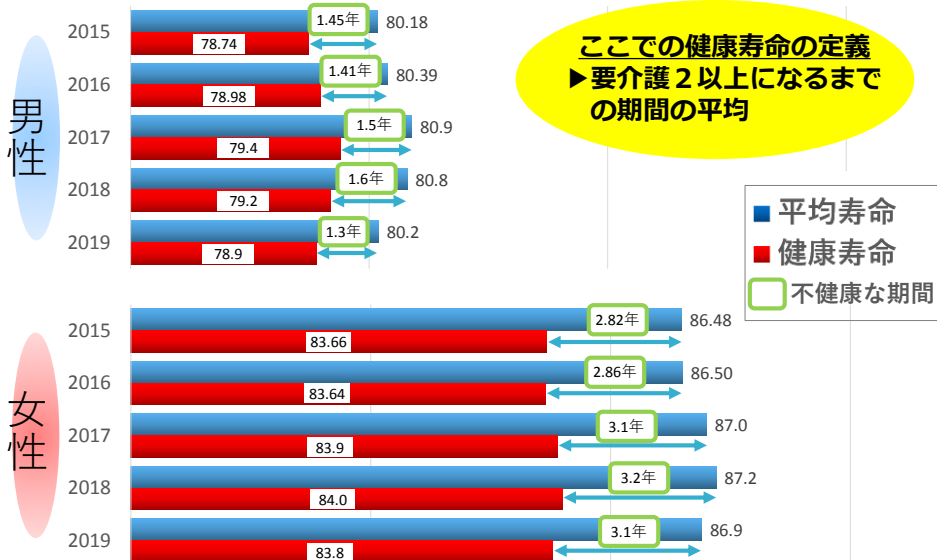
《参考：健康寿命と平均寿命・不健康な期間の関係図》



健康寿命の算出方法は 2 種類あり、ここでは日常生活が自立している期間（要介護 2 以上になるまでの期間）を健康寿命として算出しています。

4. 泉大津市民の健康寿命

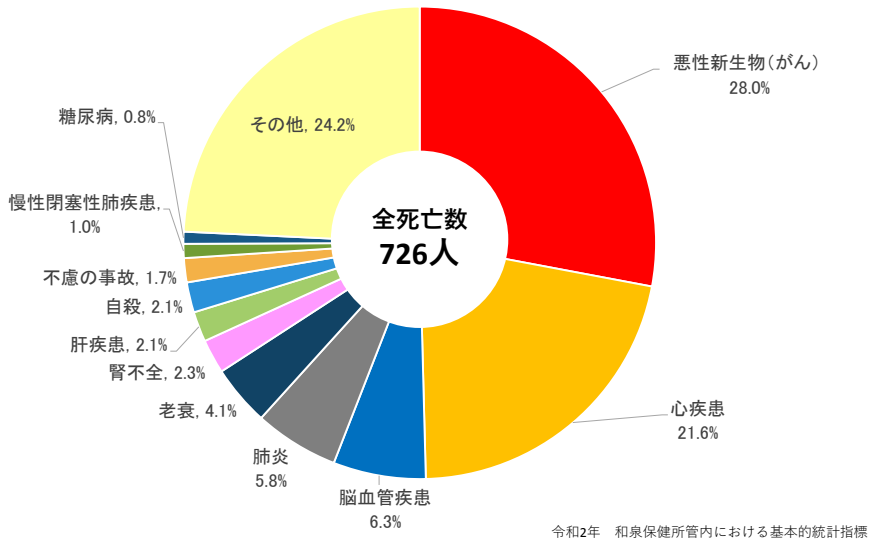
健康の現状



令和3年11月22日大阪府「大阪府内市町村の健康寿命について (情報提供)」

7. 泉大津市民の主要死因(2020)

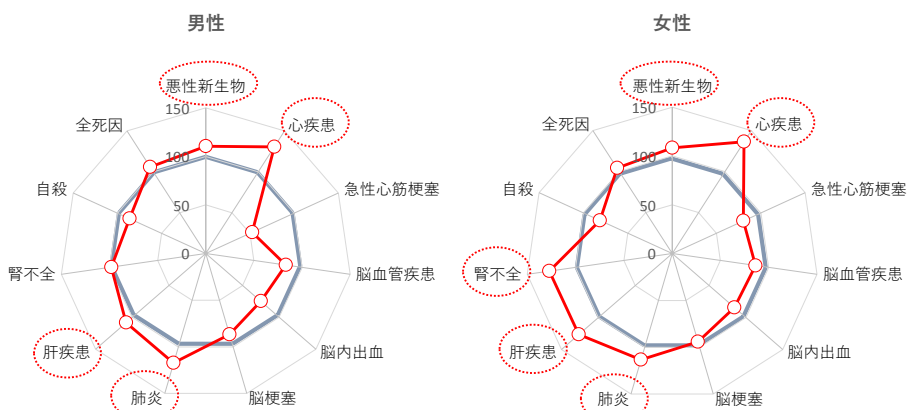
健康の現状



生活習慣病と関連の深い「がん」、「心疾患」、「脳血管疾患」などが全死因の約6割を占めています。

8. 標準化死亡比の全国比較

健康の現状



2013~2017年累計、全国を100

厚生労働省 人口動態特殊報告 (H25-29年)

標準化死亡比(人口構成を調整した死亡比)をみると、男女とも「悪性新生物」、「心疾患」、「肺炎」、「肝疾患」が多く、女性は加えて「腎不全」も多くなっています。

9. 特定健診の状況

健康の現状

特定健診受診率
コロナ禍で
3.4%低下

国保40-74歳（速報値）

(R1) 泉大津市**38.4%** 大阪府**30.1%** 全国**38.0%**
(R2) 泉大津市**35.0%** 大阪府**27.5%** 全国**33.7%**

メタボ・予備群
コロナ禍で
1.2%増加

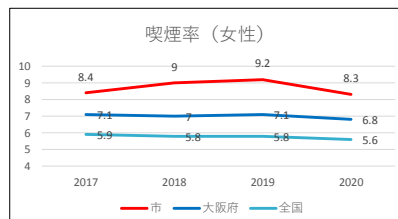
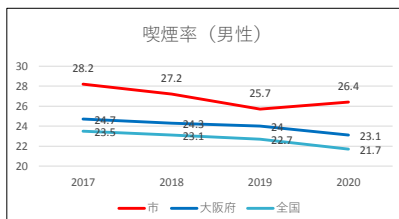
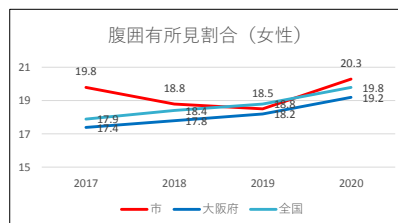
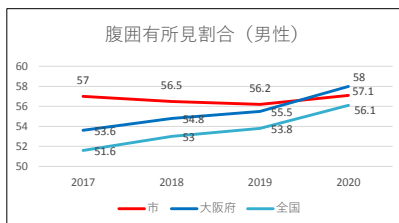
国保40-74歳（速報値）

(R1) 泉大津市**30.5%** 大阪府**30.1%** 全国**30.3%**
(R2) 泉大津市**31.7%** 大阪府**31.8%** 全国**32.1%**

公益社団法人 国民健康保険中央会「市町村国保特定健診・保健指導実施状況（速報値）」

10. 特定健診の状況

健康の現状



資料：KDBシステム（様式5-2健診有所見者状況、質問票調査の状況）

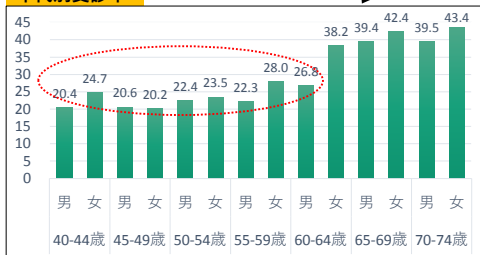
腹囲有所見者割合は、国府の有所見割合が増加しているため差が縮小していますが、横ばいの傾向です。喫煙率もほぼ横ばいの傾向ですが、国府と比べると率は高い状態が続いています。

11. 市の取り組み

健康の現状



年代別受診率



<未受診者への主な取り組み>

- ①対象者全員へ受診券の送付
- ②ホテル健診勧奨通知×3回
- ③コールアドバイザーの電話による再受診勧奨
- ④データ解析による再受診勧奨通知
- ⑤過去1度も受診歴がない40代及び39歳に郵送型簡易血液検査の案内通知
- ⑥インターネット予約の導入

国保データベース (KDB) システム

12. がん検診の状況

健康の現状



	胃	肺	大腸	子宮頸	乳
泉大津 R1	6.8%	5.2%	7.7%	18.4%	18.8%
泉大津 R2	6.1%	3.9%	6.4%	18.1%	17.7%
大阪府 R2	4.2%	4.1%	4.7%	15.3%	13.2%
全国 R2	7.0%	5.5%	6.5%	15.2%	15.6%

分母は人口

<受診率向上の主な取り組み>

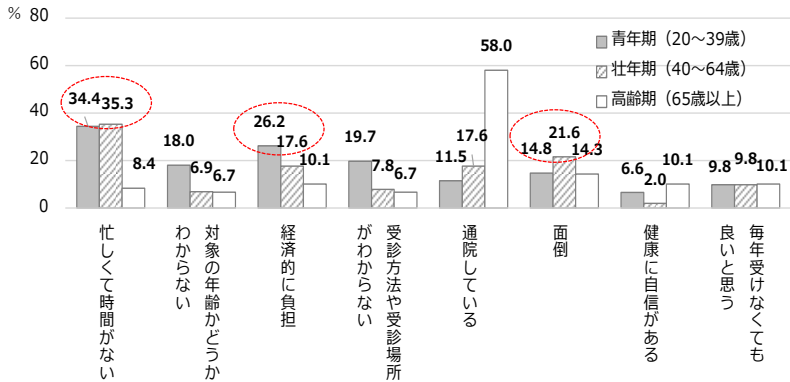
- ①節目年齢対象者全員へ勧奨通知の送付
- ②過去5年間に受診歴があり、当該年度の受診歴がない人へ受診勧奨及び再勧奨
- ③コールアドバイザーの電話による再受診勧奨（特定健診の勧奨時）
- ④子宮頸がん検診（20歳）、乳がん検診（40歳）の人へ無料クーポン送付
- ⑤乳幼児健診時に保護者向けに受診勧奨案内を配布
- ⑥インターネット予約の導入

政府統計の総合窓口e-Stat「令和2年度地域保健・健康増進事業報告」

13. 健(検)診を受けない理由

健康の現状

職場や市の健康診断・人間ドックを受けない理由 (n=437)



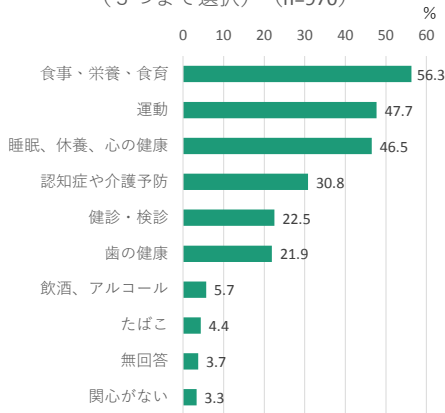
令和元年泉大津市健康に関する市民アンケート

健診を受けない理由として、青壮年期は忙しくて時間がない、経済的に負担などが上位に上がり、高齢期になると、通院が上位になっています。

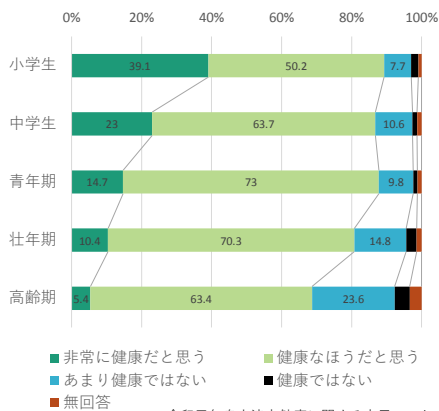
14. 健康づくりへの関心

健康の現状

健康づくりに関して関心の高い分野 (3つまで選択) (n=970)



主観的健康観 (n=1431)



令和元年泉大津市健康に関する市民アンケート

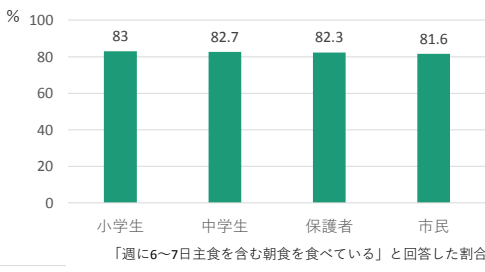
健康づくりに関し関心の高い分野として、食事・栄養・食育、運動、睡眠・休養・心の健康が上位に上がり、主観的健康観では、7~9割が健康と回答しています。

15. 健康づくりへの取り組み状況

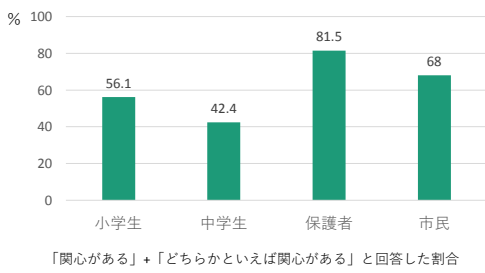
健康の現状

栄養
食育

主食を含む朝食をほぼ毎日摂取している割合 (n=1431)



食育についての関心度 (n=1431)



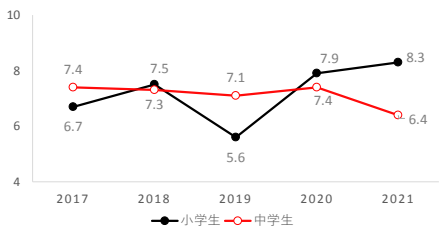
主食を含む朝食をほぼ毎日接種している割合は、小学生・中学生ともに約8割、食育についての関心度は、保護者が最も高く、市民は7割、小学生は6割、中学生は約4割となっています。

令和元年泉大津市健康に関する市民アンケート

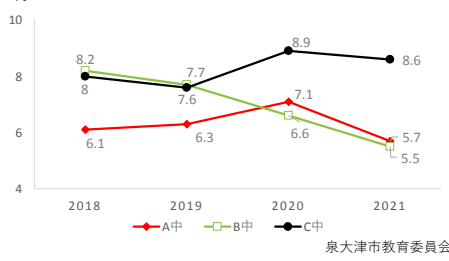
16. こどもの健康

健康の現状

肥満度20%以上の割合の推移



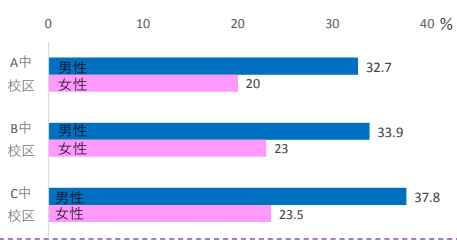
中学校区別肥満度20%以上の割合



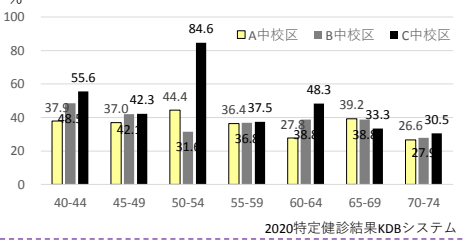
泉大津市教育委員会

大人のデータ

特定健診・BMI有所見率 (n=3945)



校区・年齢別BMI有所見率 (男性) (n=1659)



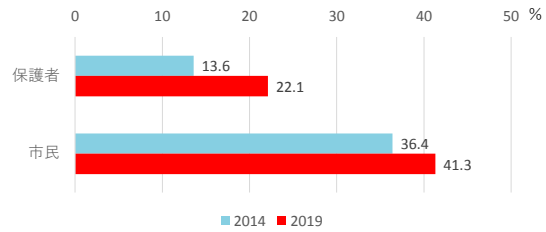
2020特定健診結果KDBシステム

17. 健康づくりへの取り組み状況

健康の現状

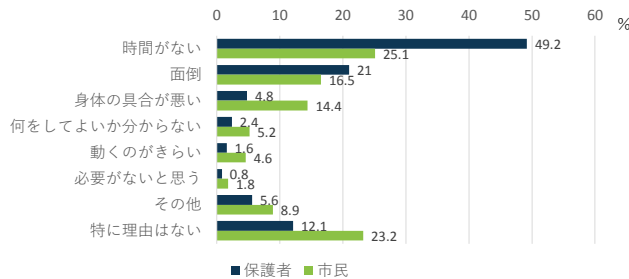
運動

運動習慣のある人の割合 (n=970)



日常的に運動していない理由

「1回30分以上の運動を週に2回以上実施している」と回答した割合



運動習慣のある人の割合は、保護者、市民ともに、5年前に比べて増加しています。

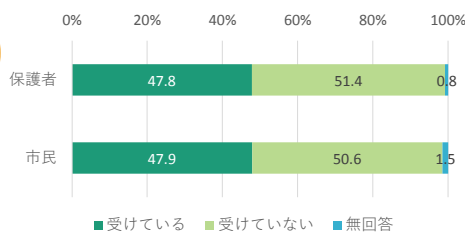
令和元年泉大津市健康に関する市民アンケート

18. 健康づくりへの取り組み状況

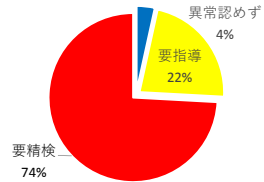
健康の現状

歯

定期的な歯科健診受診の有無 (n=970)



R2歯科健診の結果 (n=58)

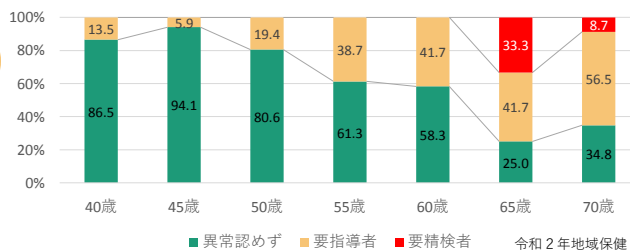


令和2年地域保健・健康増進事業報告

令和元年泉大津市健康に関する市民アンケート

骨

骨粗鬆症検診の結果 (n=212)

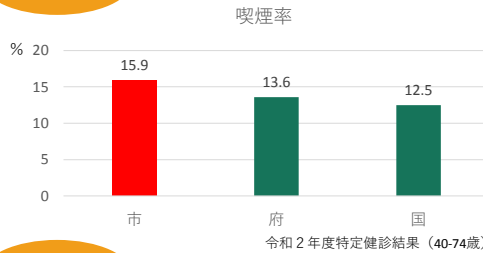


令和2年地域保健・健康増進事業報告

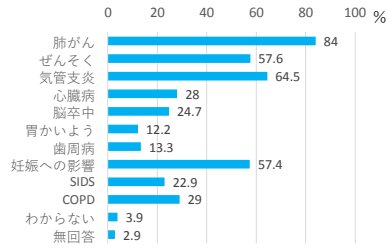
19. 生活習慣の状況

健康の現状

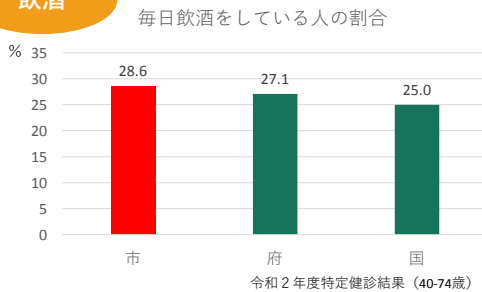
たばこ



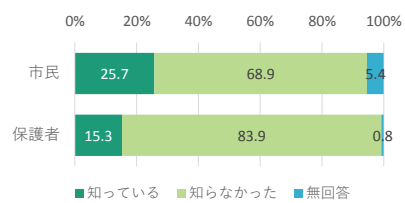
受動喫煙が影響する病気等の認知度 (n=721)



飲酒



節度ある適切な量の認知度 (n=970)

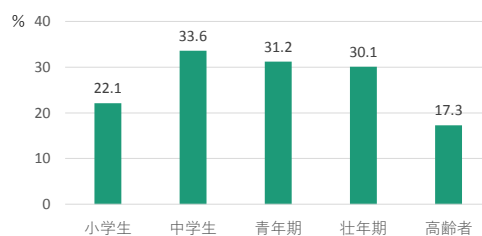


20. 心の健康・休養の状況

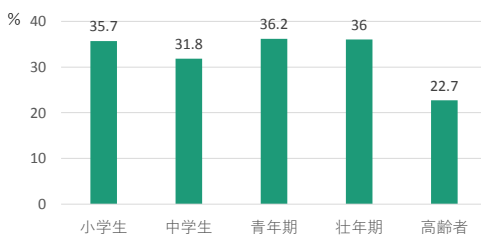
健康の現状

こころ 休養

睡眠による休養がとれていない割合 (n=1431)



ストレスが解消できていない割合 (n=1431)



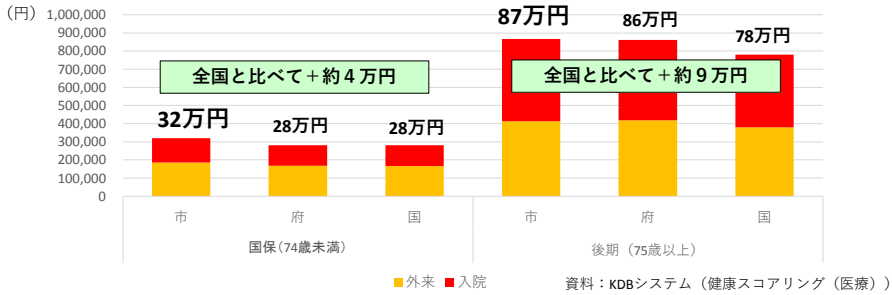
睡眠による休養が取れていない割合は、小学生、高齢者を除き、3割を超えています。
ストレスを解消できていない割合は、高齢者を除き、3割を超えています。

令和元年泉大津市健康に関する市民アンケート

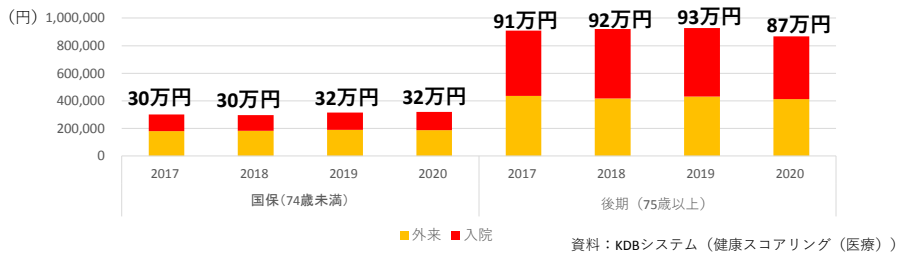
21. 医療と介護

健康の現状

1人当たり医療費（2020）



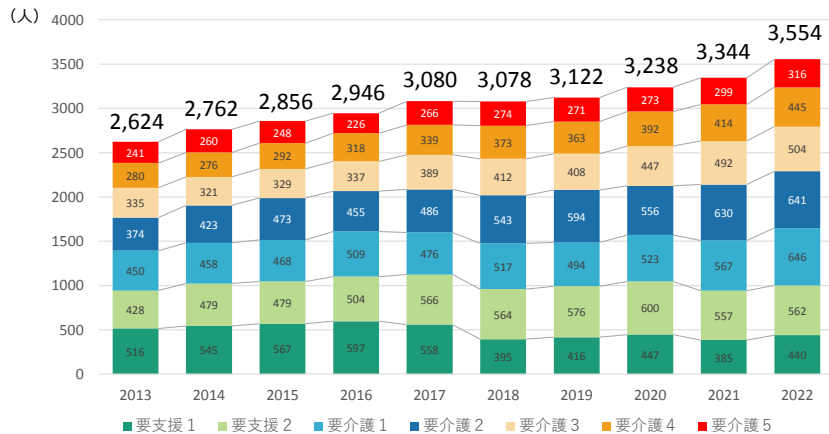
1人当たり医療費の推移（2017～2020）



22. 医療と介護

健康の現状

要支援・要介護認定者数の推移



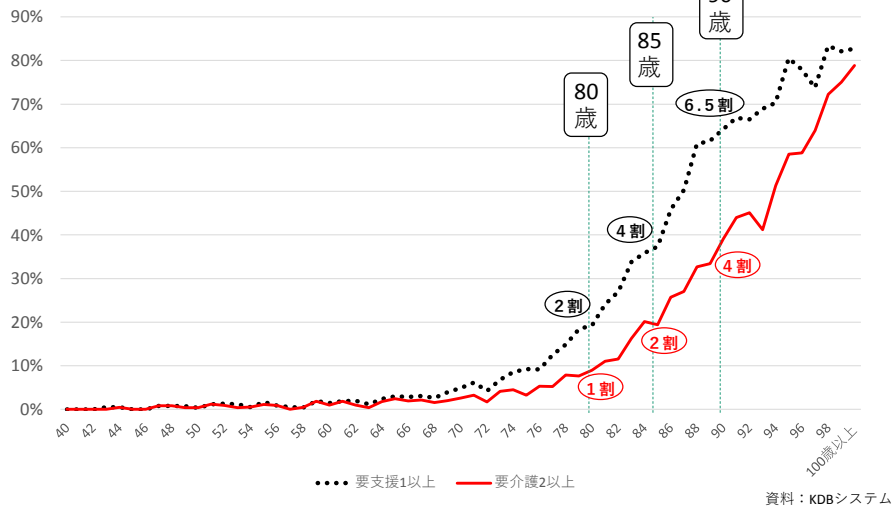
厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」及び「介護保険事業状況報告（月報）」（各年3月末現在）

要支援・要介護認定者数は、年々増加しており、特に要介護認定者数が増加傾向にあります。

23. 医療と介護

健康の現状

年齢別要支援・要介護認定割合（2020）



認定割合をみると、80歳時点では要介護2以上の判定を受けている方は約1割、90歳時点では約4割となっています。